

横浜市会議員



月刊・伊藤ひろたかの 1分でわかる市政レポート

伊藤ひろたか事務所 〒226-0003 緑区鴨居3-3-2 川端ビル1F ホームページ: <http://hiro-chan.net>
TEL & FAX 935-7850 e-mail: voice@hiro-chan.net(PC) hero1001@ezweb.ne.jp(携帯)

議会も問われる開国博Y150

平成21年度決算審査が終わりました。企業と同様、決算審査が重要だと言われるようになって久しい地方議会ですが、実態はなかなか決算重視にはなっていません。自治体財政が厳しいからこそ、決算チェックが大切だと私は思います。特に平成21年度は、開港150年の節目の年でした。Y150への予算を認めた議会として、結果をしっかりと検証する必要があったはずですが……。本号では決算審査をご報告します。

東 京・半蔵門に明治7年創業の日本で最も古い洋菓子店「村上開新堂」があります。イギリス大使館の向かいに位置する、知る人ぞ知る名店です。完全予約制の入店が難しいお店。

市 政レポートの冒頭で、なぜ、わざわざ村上開新堂の話をするのか。それは横浜とは切っても切り離せない繋がりがあからずです。同店の創業者は、外国人居留地である横浜で洋菓子を学んでいます。そして、横浜発祥のアイスクリームは村上開新堂から、全国に広がりました。こういうエピソードが横浜には沢山あります。

開 港150年という節目は、本当はこういったエピソードを1つひとつ丁寧に掘り出して、150年の来し方を振り返る機会にするはずでした。なぜ、横浜港は発展したのか。関東大震災で横浜経済はどれだけのダメージがあつ

たのか。戦後の米軍による接収で横浜の復興がいかにも遅れたか。そういった数々の困難を横浜市民は、横浜経済はどう乗り越えてきたのか。過去の営々とした努力があるからこそ、今の横浜が存在するのです。

さ て、成21年度の決算審査が終わりました。平成21年度は、開港150年の節目の年。記念事業であるY150にも多額の予算を投じました。議会もそれを認めました。私は予算案に反対したとはいえ、議会に議席を与えて頂いている一員として責任があります。私は、決算審査にあたって、1つの方針を立てました。Y150から「何を学ぶか」「何を後世に教訓として残せるか」。それを決算審査の質疑の中で、少しでも明らかにしたいと考えました。

Y 150のお金の掛け方、費用対効果の面から私は課題があったと思う



略歴
1977年生 33歳
2002年 早稲田大学大学院
理工学研究科修了

2002年 日経BP社入社
主に知的財産、環境、ITなどを
記者として取材

2007年 横浜市議会選挙
2008年 マニフェスト大賞
最優秀アイデア賞
受賞

2009年 マニフェスト大賞
最優秀成果賞
ノミネート

無所属クラブ 副団長
こども青少年・教育委員会
委員
大都市行財政度特別委員会
委員

し、なぜ、それが分かっているながら、途中で方向修正できなかったのだろうか。せめて、その「なぜ」を解明し、二度と過ちを繰り返さないことが議会に議席を与えて頂いている市会議員としての責務だと考えました。

昨年から一貫して、Y150の記念イベントについては「有料会場は見込みを大きく外れたが、無料会場を含めれば、700万人もの人が期間中にみなとみらいを訪れた」と市は評価します。そして、議会もそれをもって「よし」とする向きが非常に強い。

しかし、私は「これは違うでしょ?」、と思うのです。あのイベントには157億円ものお金、税金を投入しました。それだけのお金を投じているのですから、それなりの人が来て当たり前なのです。人を呼ぶだけなら、むしろ、もっと少ない金額で実現できたのではないかとさえ思います。なぜなら、同時期、建設費が20億円とも30億円とも呼ばれたガンダムを見るためにお台場には415万人もの人が訪れているのですから。

Y150によって市民の繋がりが生まれたじゃないか、という声もあ



ります。特に議会に根強い。それは確かにそうです。私もY150に参加した人には特に市民同士の繋がりが強くなったと肌で感じています。しかし、それだって、157億円も掛けなければ、実現できなかったことなんだろうか、と思うのです。

私は150年の節目、もっといい迎え方が出来たと思います。横浜は他のどの都市にも負けない市民のエネルギー、そして磨けば光る観光資源、横浜ならではの物語、ストーリーがたくさんあります。残念ながら、去年のY150で、そういった横浜らしさにスポットを当てられませんでした。

今回、決算審査の中で、林市長は「民間企業であれば、四半期決算毎に事業の進捗管理をするけれども、行政の場合、なかなか立ち止まって事業を見直すことが出来ない」と答弁していました。Y150は正にその典型的な事例でした。ですから、私は「なぜ、立ち止まることはできなかったのか」「今回の件から何を教訓として残すのか」という質問をしたのです。残念ながら、議会の中でY150を取り上げた議員は他にいませんでした。

